

## 地域公共交通及び運転免許証自主返納者に対する支援について

北信越部会提出  
説明担当 長野市

少子高齢化の進む中、近年、高齢運転者が関わる交通事故が多く発生しており、悲惨な死亡事故も後を絶ちません。これは、年齢とともに視力や判断力などの身体機能に変化することに伴い、危険予知能力の低下による歩行者や相手の車の動きへの不注意・安全不確認、また、ハンドルやブレーキの操作ミスなどがその原因とされています。

こうした高齢運転者が関わる交通事故の減少を図るため、地方自治体は、それぞれで工夫しながら運転免許証の自主返納を促進する制度に取り組んでいます。しかしながら、高齢化が進む中山間地域ほど自家用車への依存度が高く、大きな成果を上げる状況にありません。

中山間地域での安全な生活を実現するためには、地域公共交通の拡充を図り、運転免許証を返納しても生活を維持できる環境整備を進めることが不可欠です。また中山間地域を多く抱える自治体は、財政基盤も脆弱であることから、運転免許証の自主返納を促進するための制度に対する支援が必要となっています。

つきましては、地域での安全な生活を実現するため、下記事項についての国の支援を強く要望します。

### 記

- 1 中山間地域における地域公共交通システムの整備に対し、重点的な支援を行うこと。
- 2 地方自治体が行う運転免許証の自主返納促進制度に対し、財政的な支援を行うこと。